

両毛システムズ 第19回RSガスシステムセミナー2021 ONLINE

両毛システムズは11月25日、26日、「第19回RSガスシステムセミナー2021ONLINE」を開催した。前回に続いてのオンライン開催に、今回57事業者から119人が参加した。本特集では、セミナーで取り上げた、カーボンオフセット対応、問い合わせ手続のウェブ化による業務改革、SKYSEAクラウドサービス、適格請求書等保存方式などの法改正対応に関する情報共有——の四つのテーマについて概要を紹介する。

GIOSカーボンオフセット対応 エネルギーソリューション第2課 鈴木陽介氏



2020年10月26日、菅義偉首相(当時)は所信表明演説で、50年カーボンニュートラル実現を目指す旨の宣言を行った。これを受け日本ガス協会は、脱炭素社会実現に向けた取り組みを同年11月に表明した。50年を見据え多様なアプローチを模索的に組み合わせ、脱炭素社会実現へのビジョンを示した。30年マイルストーン達成に向けた取り組みに注力したい。その一つとしてカーボンニュートラル(CNNG)の導入

拡大が挙げられる。CNNGは19年6月に東京ガスが国内で初めて導入決定を発表した後、北海道ガス、大阪ガス、東邦ガスなど事業者の間で導入が進んでいる。CNNGを顧客に供給する事で、顧客がガスを使用する際に排出するCO₂(温室効果ガス)をオフセット(相殺・埋め合わせ)することができる。これにより、ガス使用顧客が、自分の努力だけでは削減できない排出量をオフセットできる。大口のガス使用顧客だけでなく、環境意識の高い一般のガス使用顧客に対しても普及していくことが期待される。

SKYSEAクラウドサービス ネットワークセキュリティ課 両毛システムズ



「SKYSEAクラウドサービス」について、サービスの概要、SKYSEA CIent Viewの各種機能などを説明する。近年、セキュリティ対策において、IT資産管理が非常に重要とされている。IT資産管理とは、組織が所有しているパソコンやUSBメモリなどの情報機器、使用しているOSやソフトウェアなどを把握し、適切に管理することだ。パソコンやUSBメモリなどに重要なデータや機密情報が保存されていることは珍しくない。そのため、IT資産管理が適切に行われていないと、情報漏えい事故につながり、組織にとって重大な損失になってしまう可能性がある。また、OSやソフトウェアに脆弱性が見つかった場合、アップグレードなどの対応を行わないと、ウイルス感染やサイバー犯罪の被害に遭う可能性が高くなる。こうしたセキュリティ上の脅威に素早く対応するには、情報資産の洗い出しを日頃から行っていることが重要

となる。当社が提案するSKYSEAはIT資産の安全な運用管理を支援するためのソフトウェアだ。組織内にあるIT資産を二つの観点から一元管理し、パソコンやソフトウェアの情報自動収集できる。特徴は三つだ。一つ目は、さまざまな機能がオールインワンで利用できること。IT資産の管理機能だけでなく、情報漏えい対策、業務効率化などに役立つことができる。二つ目は使いやすいこと。初めて使っても直感的に操作できるような画面構成とした。三つ目は定期的な機能のバージョンアップが行われる点。変化しているIT環境にもいち早く対応することが可能だ。最新システムを活用することで、資産管理にかかる手間と努力を大幅に削減し、情報漏えい事故のリスクを減らすことができる。当社のサービスであるSKYSEAクラウドサービスは、さまざまなセキュリティ課題を解決するお手伝いができる。よく耳にするセキュリティの課題として、「そもそもIT資産管理ができていない」「USBメモリは個人所有の物もあり管理でき

Sのカーボンオフセット対応の三つの機能を紹介する。 一ツ目は、ガス使用量に応じたカーボンオフセット計算ができること。 桐生ガスのカーボンオフセットガス付加契約では、カーボンクレジット数量、カーボンクレジット付加料金の計算が必要であった。GIOSでは、この二つの計算へ対応する。

二ツ目は請求フローへの考慮だ。カーボンオフセット計算で計算されたカーボンクレジット付加料金をガス料金と一緒に請求する。これを実現するため、カーボンオフセット用の履歴データを作成し、請求金額に上乗せする。三ツ目の機能は、これまで紹介した二つの機能により、カーボンオフセットの履歴データがGIOS上で管理できるようになった。このデータを利用してカーボンニュートラルガス使用顧客に対し、実績明細を発行できる。また、カーボンオフセット対応として機能追加した付帯契約機能

黒岩祐樹氏

「働き方」の改善として、オプション機能で時間外管理を支援できる。具体的には、定時終了時刻でのメッセージ配信、残業申請、未承認の端末は時間外にロックすることが可能だ。SKYSEAクラウドサービスなら申し込みから導入まで手間を大幅に削減できる。また、当社の独自ソリューションサービスとして、導入後の顧客の負担を軽減できる。なるべく顧客の負担なくセキュリティを強化したいという要望があり、本サービスを導入している。

「問い合わせ手続のウェブ化による業務改革 エネルギーソリューション第2課 三保龍介氏」



ガス料金のお知らせを閲覧できるポータルサイト「エネぼたる」の概要と新機能などについて紹介する。エネぼたるは、2016年に当社が提供を開始したBtoC向けのポータルサイト。ガスの顧客がいつでもガス料金通知をスマートフォンやタブレットで閲覧できるサービスだ。時代の変化に伴い、さまざまなサービスが拡張さ

法改正対応に関する情報共有 両毛システムズ エネルギーソリューション第2課 金谷 祐子氏



法改正に際し、ガス事業者はどのように対応すべきか。適格請求書等保存方式と、行為規制(運営業務に関する情報)が小売業務部門に流出することを防止する。これらに際しては、適格請求書発行事業者の登録番号取得と、交付または受領した請求書の整理だ。23年10月から適格請求書が必要となる。インボイス制度の導入に伴い、ガス事業者はガス使用顧客から適格請求書の交付を求められることが増える。その対応として、その負担軽減(発行・封入封緘・郵送費等のため)に顧客ポータルサイト「エネぼたる」を提案していききたい。スムーズなインボイス制度への移行のため、当社は22年内のシステム対応を目標としている。次に行為規制について説明する。22年4月以降は、制度整備等に関する監査が行われる

能は、ガス自由化によって顧客から求められる多彩な料金メニューにも対応できるように、今後、ガス事業者が提供していききたい。日本ガス協会が掲げた50年カーボンニュートラルチャレンジで、ガス事業者の新たな取り組みが始まる。両毛システムズとしてガス事業者の新たな挑戦を共創していく形で支援していきたい。

とで、事業者の目指す業務改革を支援する。スマホの普及によって、SNS(交流サイト)でコミュニケーションをとることが一般的になってきており、20代を中心とした層では、通話をするのが減ってきているとされている。ガス顧客からは、「電話で問い合わせた情報が間違っている」という声が多く聞かれます。エネぼたるは、電話受け付けをしながら顧客を検索するのが大変に緊急以外の業務もその場で対応したい。問い合わせればならない「問い合わせを受けた内容をGIOSに入力するのには手間がかかる」といった課題が寄せられており、電話の対応は、業務効率低下にもつながっている。これら課題の解決のため、エネぼたるに問い合わせ手続ページを追加し、顧客が問い合わせや各種作業依頼の入力を直接入力できるようにした。顧客が入力するページだけでなく、当社独自のAPIエネぼたると基幹システムを結び、顧客が入力したデータを自動連携できる仕組みにより、これまで事業者が抱えていた顧客からの問い合わせに対する不都合の改善につながった。エネぼたるにページを追加するだけでなく、導入のハードルも低く、汎用的機能としても提供できる。ガス料金など、急を要さない顧客からの問い合わせは、エネぼたるの問い合わせ手続

総合エネルギー事業経営総合支援ソリューション

サステナブル時代に対応した総合CISにより、顧客満足度の向上と安全・安定・安心をITで支援いたします。



GIOS製品コンセプト 都市ガス・簡易ガス・LPガス・電力・その他のお客さまを一元管理した統合CISを標準装備 最前線のお客さま対応から、エネルギー事業経営の意思決定支援までを総合ソリューション 100社を超えるガス事業者さまへの導入実績から得たノウハウをフル活用し、エネルギー事業者さまのあらゆる経営課題解決のためのご支援と戦略的経営情報システムの構築をご支援いたします。